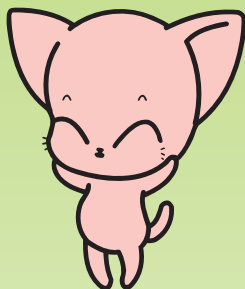


しまぎんの 経営情報

2012年(平成24年)3月期
(平成23年4月～平成24年3月)
【単体情報】



マスコットキャラクター
“シマニー”

1. 東京証券取引所市場第一部 1. 銘柄指定について

当行では、中期経営計画「躍進の2年」〔計画期間：平成23年4月～平成25年3月〕に基づき、フェイス・トゥ・フェイスの精神の下、地道にそしてきめ細やか且つ、スピーディーにお客さま対応を行い、信頼の絆をさらに深めることで、山陰地域における当行の存在感を高め、全国的にも広くアピールできるよう、掲げた施策の着実な実践に努めております。

その施策のひとつとして、上場メリットを更に追及すべく、本計画期間内での東京証券取引所市場第一部銘柄への指定に取組んでまいりましたが、おかげさまで、平成24年3月15日、同市場第二部への上場からわずか1年で、実現することができました。

これもひとえに、株主の皆さま、お客さま、そして地域の皆さまの暖かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも地域に根ざした銀行として、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うする所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

なお、一部指定セレモニーは平成24年4月9日、東京証券取引所において執り行われました。

<一部指定セレモニーの様相>



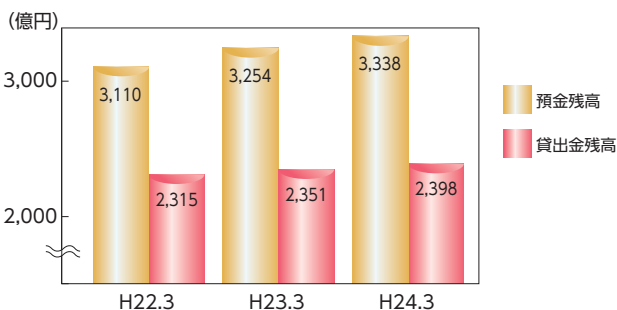
2. 預金・貸出金、個人預り資産

預金・貸出金及び個人預り資産の状況は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

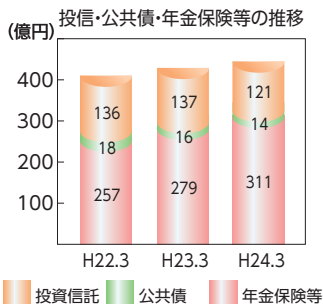
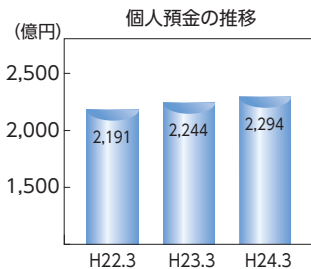
区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
預金残高	311,094	325,483	333,879
個人預金	219,187	224,455	229,448
法人預金	63,982	63,836	67,857
公金預金	25,522	35,443	35,223
金融機関預金	2,401	1,747	1,350
貸出金残高	231,522	235,196	239,844
中小企業向け貸出	117,402	112,006	110,164
個人向け貸出	67,799	69,363	78,926



個人預り資産

(百万円)

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
個人預り資産	260,421	267,830	274,191
個人預金	219,187	224,455	229,448
投資信託	13,601	13,794	12,129
公共債	1,891	1,612	1,468
年金保険等	25,741	27,967	31,144



3. 有価証券

有価証券の運用残高及び評価差額等は次のとおりです。

運用残高

(億円)

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
運 用 残 高	790	875	932
内 訳			
債 券	622	697	747
株 式	45	56	66
その他	122	121	119

評価差額等

(億円)

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
満期保有目的の債券等 差 額	0	1	3
その他有価証券 評価差額	9	5	7
内 訳			
債 券	6	6	9
株 式	1	▲1	▲2
そ の 他	0	0	0

※上記「運用残高」、「評価差額等」には、「売買目的の商品有価証券」は含んでおりません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※差額及び評価差額は、各決算日の時価に基づき算出しております。ただし、内訳中の「株式」及び「その他」に含まれる上場受益証券等の評価差額は、期末1ヵ月の市場価格の平均時価に基づき算出しております。なお、平成20年10月28日に企業会計基準委員会より公表された「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号)を踏まえ、変動国債の時価については、合理的に算定した価額に基づき時価を算定しております。

※「その他有価証券」で時価のある株式及び上場受益証券等のうち、期末前1ヵ月間の平均時価が30%以上下落しているものについては、すべて減損処理を行うこととしております。

4. 経営成績

経常収益は、国債等債券売却益が増加しましたが、貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことに加え、株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比197百万円減収の7,582百万円となりました。

一方、経常費用は、有価証券関係費用が増加しましたが、与信関連費用や預金金利回りの低下を主因として預金利息が減少したことなどから、前年同期比191百万円減少し6,631百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比6百万円減少の951百万円となり、当期純利益は前年同期比48百万円増加の658百万円となりました。

(百万円)

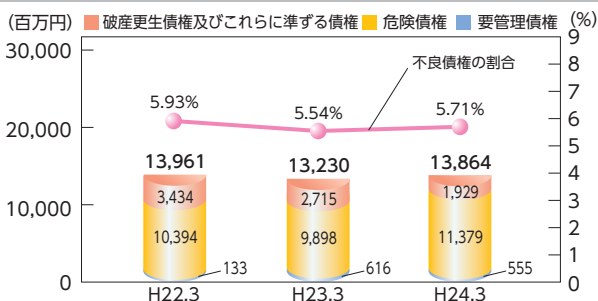
区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
経 常 収 益	8,100	7,780	7,582
経 常 費 用	7,031	6,822	6,631
経 常 利 益	1,068	957	951
当 期 純 利 益	602	609	658

5.不良債権

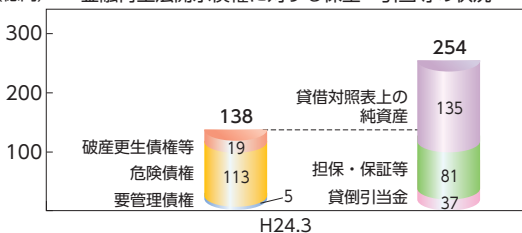
金融再生法に基づく開示債権額(貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象)は次のとおりです。

(百万円)

区分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,434	2,715	1,929
危険債権	10,394	9,898	11,379
要管理債権	133	616	555
計 ①	13,961	13,230	13,864
正常債権	221,410	225,498	228,906
合計 ②	235,372	238,729	242,770
不良債権の割合 ①/②	5.93%	5.54%	5.71%



(億円) 金融再生法開示債権に対する保全・引当等の状況



金融再生法に基づく開示債権について

- ◆「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続き等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権を指しており、担保等で保全されていない部分については、既に、貸倒引当金にてフルカバーしております。
- ◆「危険債権」とは、債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約どおりの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権を指し、「要管理債権」とは、要注意先に対する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権を指しており、それぞれに必要な貸倒引当金を計上しております。
- ◆この金融再生法開示債権(いわゆる不良債権138億円に対しましては引当金37億円、担保・保証等81億円、計118億円が計上されており、正味の不足額は19億円であります。この全額が万一回収不能となった場合でも、これに対する当行の純資産の部合計額はその約7倍(135億円)あり、不良債権に対する備えは十分にあります。

銀行法に基づくリスク管理債権額(貸出金のみを対象)は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
破綻先債権	912	752	712
延滞債権	12,696	11,635	12,351
3か月以上延滞債権	10	18	11
貸出条件緩和債権	122	598	543
計◎	13,742	13,004	13,619
貸出金残高(未残)①	231,522	235,196	239,844
不良債権の割合◎/①	5.93%	5.52%	5.67%

6. 自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率	9.18%	9.58%	9.21%
基本的項目(Tier1)比率	7.34%	7.71%	7.53%

自己資本比率について

- ◆当行のように海外に営業拠点を有しない銀行は国内基準の対象となり、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成24年3月期の自己資本比率は9.21%であり、国内基準の4%をクリアしています。

基本的項目(Tier1)比率について

- ◆基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」(資本金や剰余金など)によって算出される比率のことです。
- ◆平成24年3月期のTier1比率は7.53%であり、この比率でも国内基準をクリアしています。

7. 企業の社会的責任(CSR)への取り組み

当行は、従来から企業の社会的責任(CSR)の重要性を強く認識し、「経営理念」の一つとして掲げ、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取り組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、社会貢献活動についても積極的に推進しております。

今回、社会貢献活動の中から、以下の活動をご紹介します。

◆ インターネットバンキングのサービス内容拡充 ◆

日中、お仕事等でお忙しく、当行窓口をご利用いただけないお客さまについても、快適に当行のサービスをご利用いただけるよう、従来からのATM等によるキャッシュサービスに加え、インターネットサービスの拡充等に取組んでおります。

この一環として、平成24年1月16日より、個人のお客さま向けの「インターネットモバイルバンキングサービス」に関して、以下の取扱を開始いたしました。

項目	内容
インターネット普通預金の取扱開始※	<ul style="list-style-type: none">○山陰地区の金融機関では初の取組みとなる通帳を発行しない普通預金です。○通帳記帳や繰越のために当行窓口にご来店いただく必要はありません。○当行及びゆうちょ銀行のATM時間外手数料が無料です。
ご利用時間の拡大※	<ul style="list-style-type: none">○以下のサービスメニューについて24時間ご利用が可能です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・残高照会・入出金明細照会・振込・振替(予約扱い)・定期預金の口座開設・預入・明細照会・解約・依頼内容照会・お客さま情報の変更</div>

※詳しくは、当行ホームページ(<http://www.shimagin.co.jp/>)をご覧ください、お近くの当行窓口までお問合せ下さい。

なお、既に取扱期間は終了いたしましたが、次の取扱を行いました。

項目	内容
【期間限定】 山陰特産品付定期預金の販売	<ul style="list-style-type: none">○お預け入れいただいたお客さまに、山陰特産品(グルメカタログギフト)をプレゼントさせていただきました。○取扱期間:平成24年1月16日～平成24年3月30日

今後も、お客さまの利便性向上に向けて、インターネットバンキングやATMネットワーク等の非対面チャネルの充実に努めてまいります。

〔しまぎん店舗のご案内〕

■島根県(25ヵ店)

◎松江市(11ヵ店)

本店営業部 TEL(0852)24-1234
北出張所 TEL(0852)24-1451
松江駅前支店 TEL(0852)24-1351
南出張所 TEL(0852)24-1251
津田支店 TEL(0852)24-1551
松江卸団地支店 TEL(0852)24-1651
山代支店 TEL(0852)24-1751
黒田支店 TEL(0852)23-7777
上乃木支店 TEL(0852)22-7755
学園通支店 TEL(0852)21-2120
松江センター出張所 TEL(0852)24-1564

◎隠岐郡(1ヵ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

◎安来市(1ヵ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

◎出雲市(6ヵ店)

出雲支店 TEL(0853)30-6611
出雲東出張所 TEL(0853)22-5260
出雲中央出張所 TEL(0853)23-6262
大社支店 TEL(0853)53-2142
平田支店 TEL(0853)62-2314
斐川支店 TEL(0853)72-5200

◎雲南市(2ヵ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621
雲南支店 TEL(0854)45-5557

◎大田市(1ヵ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

◎江津市(1ヵ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

◎浜田市(1ヵ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

◎益田市(1ヵ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222

■鳥取県(9ヵ店)

◎米子市(4ヵ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131
米子東出張所 TEL(0859)22-7370
角盤町支店 TEL(0859)32-5121
米子駅前出張所 TEL(0859)33-5221

◎境港市(1ヵ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

◎日野郡(1ヵ店)

根雨出張所 TEL(0859)72-0371

◎倉吉市(1ヵ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

◎鳥取市(2ヵ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118
鳥取駅南出張所 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域の皆さまに、積極的な経営内容の情報開示を行ってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページにも掲載しております。

島根銀行 (平成24年5月 発行)

お問合せ先：人事財務グループ

松江市東本町2-35 〒690-0842

TEL.0852-24-1234(代表)

URL.<http://www.shimagin.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

本誌の作成にあたっては、環境にやさしいインクと再生紙を使用しております。